



兵庫県立西脇工業高等学校同窓会 | 緑窓会会報

緑窓会(同窓会)総会のご案内
みんな集まろう！



日時 平成28年
4月9日(土)10:00~
(第2土曜日)

場所 緑窓会館内



CONTENTS

ご挨拶	2
同窓会活動報告	3
ゴルフコンペ開催	3
活躍する同窓生	3
活躍する部活紹介	4
ものづくり 電気科	5
学科紹介	6
部活動戦績	7
会計報告	8
掲示板	8
編集後記	8

第97回 全国高校野球選手権 兵庫大会
始球式の写真です。明石トーカ球場 (7月11日)

夢に向かって

緑窓会会長 村上 龍夫
(8回生 電気科)



緑窓会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は、兵庫県立西脇工業高等学校の発展、並びに緑窓会の運営におきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

会報の発行につきまして会員の皆様方をお願いごがあります。学校や、会員皆様方の情報を会報でもって発信し、会員一人ひとりの絆を強くし、皆様方が固く手を結び、親睦と友情を深め、今以上に母校を愛し強い組織にしていきたいと思っております。少子化が進み専門学科のクラス減もあるのではないかと心配しています。緑窓会はクラス減の無いように現状維持を常々訴えております。その為には会員皆様方のお力添えと、協力をお願いいたします。このような学校の情報発信には会報が必要不可欠です。出費多端の折からまことに恐縮ではございますが、これからの会報発行経費にご協力をよろしくお願い致します。

近年の後輩の活動には、夢に向かって躍動する素晴らしいものがあるのではないかと思います。平成27年度高校生ものづくりコンテスト科学分析部門近畿大会において昨年は工業化学科の竹内さんが優勝し、2年生の蛭田さんが6位入賞をはたしました。今年3年生になられた蛭田さんは、化学分析部門に再度チャレンジし見事3位に入賞しました。これからの工業高校本来の【ものづくり】に対してのよい経験になったのではないかと思います。今後の益々

の活躍をお祈りいたします。同時に文化部の活躍を期待すると共に、多くの資格取得にも挑戦していただきたいと思っております。ぜひ先生方のご指導をよろしくお願い致します。

運動部においては、2015年度全国高校野球選手権(兵庫予選)で陸上競技部2年情報繊維科の高橋ひなさんが始球式を務められ、見事な投球で夏の高校野球選手権が開幕されました。

陸上部においては田中希実さんが、アジアジュニア選手権において1500mで2位に入賞しました。また、全国インターハイに、陸上競技部の選手が7名出場され、西村陽貴君が800mで2位、西村早織さんが女子5000m競歩において2位にそれぞれ入賞されました。水泳部においては幌村尚君が世界ジュニア選手権代表に選ばれ、選手団の主将を務められました。そして見事100mバタフライにおいて優勝されました。このように後輩たちがそれぞれ夢に向かって活躍しておりますことを嬉しく思います。我々卒業生に、励ましのエールを送られているような気持ちにもなります。これからの後輩たちの活躍をできる限り支援していきたいと思っております。

西脇工業高等学校が、全国の工業高等学校の模範となるような学校創りを目指して、躍進されるお力添えができればと我々緑窓会(同窓会)も思っております。

最後になりますが、これからの緑窓会(同窓会)活動におきまして、会員皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、会員皆様方がご健勝で、益々ご活躍されますことをご祈念申し上げます。

GREETING SENTENCE

感謝

校長 小西 重正



緑窓会の会員の皆様には、平素より母校の教育活動にご理解ならびにご支援を賜り、誠に有り難うございます。

さて、団塊世代の大量退職の影響を受け、今年も各企業から例年以上の求人を見たとき、3年生は多くの選択肢の中から希望職種を選び、9月の就職試験に臨むことができました。

これもひとえに卒業生の皆様方の地域社会における貢献と各職場でのご活躍の賜物であり、その事が西脇工業高校への信頼に繋がっていることに、あらためて感謝申し上げます。

近年さらに地域の方々からは生徒の挨拶など礼儀正しさについて評価が増しつつあり、中にはわざわざお礼の電話や手紙をいただくことも珍しくありません。厳しさの中にも愛情が感じられる指導の下、歴代の教職員やOB、地域の方々と生徒のふれあいの中で育まれてきた実践力の表れと嬉しく受け止め、またこれが今や学校の文化となっていると感じています。安心することなくさらなる精進、指導の強化を続けてまいりたいと思っております。

本年度は教育目標として昨年度の生活3原則である「挨拶」「時間」「清掃」の徹底に加え、3つの「シンカ」:「進化」「深化」「新化」を掲げました。「ものづくり」を通して「人づくり」を実践している本校にとりまして、現状に甘んじることなく

全人的な視点から「前へ」「下へ」「上へ」いろいろな意味で成長してほしいという願いを込めています。運動部はもちろんのこと、文化部の活動のさらなる活躍を期待し、ならびに工業高校本来の「ものづくり」や資格取得にも力を注いでいます。

これまでのところ、運動部では、陸上競技部で田中希実さんがカタールのドーハで行われたアジアジュニア選手権1500mで2位入賞。全国インターハイには7名が出場し、800mで西村陽貴君が2位、5000m Wでは西村早織さんが2位に入賞しました。水泳では幌村尚君が100mバタフライで2位の後、200mバタフライで見事優勝を果たし、シンガポールで行われた世界ジュニア水泳に選手団の主将として参加しました。また、男子バレーボール部も久々に近畿大会へ出場しました。

一方、高校生ものづくりコンテスト近畿大会化学分析部門では蛭田真未さんが3位に入賞しました。

今後も生徒の多様な可能性を引き出し、伸ばすことのできる学校づくりをめざすとともに、保育園・小学校などへの出前授業や地域のイベントなどへの積極的な参加により、地域に開かれた魅力ある学校づくりをさらに進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と、ますますのご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

10回生 昭和48年卒業生 同窓会開催

2013年甲子園初出場を機会に、10回生野球部が久しぶりに集まることができました。

卒業メンバー11名が集まり、昔の練習や試合のことで話題がつきません。それ以後、毎年集まることを約束しています。今年も年末に集まる予定をしており4回目となります。

11名全員が元気であることを約束し、11年間続けられればいいなと思っています。

野球部



46回生 平成21年卒業生 同窓会開催

2015年1月3日、46回生工業化学科の同窓会があり、20名程が集まりました。

担任の先生との久しぶりの再会に想い出話しに花をさかす時間となりました。

また近況報告も行い、それぞれが新しい場所で頑張っていることも知ることもでき、私たちも大人になっていってるんだな、と実感しました。

また、数年後、次は全員で集まりたいです。

工業化学科



32回生 平成7年卒業生 同窓会開催

情報繊維科

平成27年1月3日(土)、西脇市野村町のつばきやにて、西脇工業高校32回生情報繊維科の同窓会を開催致しました。

3年間を共に過ごし、全員揃って卒業した40人。卒業後20年目となる今年に初めて開いた同窓会はクラスメート26人と、3年間担任としてお世話になった辛川先生を招き、27人の参加となりました。高校時代の当時は20年後の自分自身や仲間達の姿など想像も出来ない程未来の事だと思っただけでしたが、いざ集まってみれば学生時代が昨日の事のように思えました。仲間達の空白の20年間で埋めるかの勢いで話題が尽きる事はありません。1つの教室で3年間を共にした仲間達。現在は日本の各地に留まらず、海外で活躍している仲間も居ました。それぞれが若き良き時代の20代30代を過ごし、人生の転機を迎え、一回り大きくなり再会を果たしました。今回、都合が合わず参加に至らなかった仲間もいたので、第2回、3回…と開催し続けられたらと思います。共に白髪が生えるまで…いつまでも仲間でありたいです。



第9回 緑窓会ゴルフコンペ開催



今年も、4月29日(昭和の日)西脇カントリークラブに於いて、開催されました。

最高のゴルフ日和の中42名が、Wペリア方式で腕を競い合いました。

ラウンド後は、親睦会を行い、期を超えて和気あいの交流場面が各所で見られた1日でした。

来年の第10回大会も、多数の皆様の参加をお待ちしております。女性会員の方も参加よろしくお祈りします。

特集 活躍する同窓生

電気科 第32回生 ごとうみのるさん

私は平成7年に高校を卒業してから、専門学校へ進学卒業後、様々な職を経て現在は「書家ごとうみのる」として、筆と墨を使って即興で詩を書き綴ることをはじめ、看板や名刺のデザインや書き下ろしパフォーマンスなど、筆文字にかかわること全般に活動をしています。

平成21年に東京・新宿駅前路上パフォーマンスを始めて以来、国内100ヶ所以上の都市と、海外はヨーロッパ・アジアを中心に16ヶ国を巡りました。そして去年の11月に、多可町加美区にあるアトリエギャラリー「みのる庵(仮称)」をオープンしました。

今はそこを拠点に国内外を問わず各地で活動をしています。

今年の2月には、インドネシア・タイに訪れました。両国ともに親日国で、日本に興味をもつ人が多くいました。

地方の都市だと、日本人だというだけで喜んでくれる人がいたり、一緒に写真を撮ってほしいと列ができたりして、まるでアイドルのような扱いをされることもありました。

こんな私が、…です(笑)。ただ、そんな中で現地の方々と交流させてもらう中で強く感じたことは、日本人としての誇りでした。

私たちの先人達がそのような南国を築いてくれたことに感謝の気持ちでいっぱいでしたが、これからの世代にも繋いでいかなければという想いが強く湧いてきました。

そのために何が出来るのか?と考えた時に私が出来ることといえば、書を書くことで多くの方々へ魅力を感じてもらい、伝えていくことです。それは、海外の方々もそうですし、筆離れが進む日本人に向けても同じです。

4年前に西脇工業のOBだというご縁から、工業祭で書き下ろしパフォーマンスをさせてもらう機会をいただきました。

その時に出会った在校生の礼儀正しさに、自分の高校時代と比べ頭が下がる思いでした。

西脇工業高校の卒業生として、私自身これからも名に恥じないように、そしてこの学校の卒業生は素晴らしいと言ってもらえるような活動をこれからも重ねていきます。そして、またお声をかけてもらえるように、さらなる高みを目指して日々過ごしていきます!



活躍する部活紹介

アジアユース2位

女子陸上競技部 1年 田中 希実 情報・繊維科

今年の夏、私は初めての経験をたくさんすることができました。迎える試合、遠征全てが私にとって大きなものでしたが、中でも貴重な経験だったと思うのは、全国インターハイに出場できたことと、日韓中ジュニア交流競技会の海外遠征に参加できたことです。

どちらも満足のいく結果をあげることは出来ませんでした。自分のレースの改善点がたくさん見つけられました。これから、秋・冬のシーズンには、国体や駅伝など、大事な試合がたくさんひかえています。この夏得たことを最大限に活かし、また新たな成長の糧を得られたらと思います。

また、皆様の期待に応えられるようにもがんばっていきますので、応援よろしくお願いします。

【大会結果】

第1回アジアユース陸上競技選手権大会	女子1500m決勝 2位 4'25"00	第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	女子1500m決勝 5位 4'23"10
第68回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会	女子1500m決勝 1位 4'24"22	第23回日韓中ジュニア交流競技会	8/26 女子1500m決勝 1位 4'26"95
第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会	女子1500m決勝 1位 4'21"66	8/27 女子1500m決勝 1位 4'26"92	



世界ジュニア選手権優勝

男子水泳部 2年 梶村 尚 工業化学科

インターハイでは、100mバタフライで優勝することができました。ライバルの勢いを気にしすぎ、200mバタフライでは自分の思うようなレース展開ができませんでした。周りに左右されず、目指すところは何なのか、目標を明確にし、平常心の大切さを改めて気づくことが出来ました。100mでは、自分らしさを忘れずに泳ぐことが出来ました。タイムは納得いかなかったけれども、優勝することができ、本当にうれしかったです。

そして、優勝した勢いを持ったままシンガポールで行われた世界ジュニア選手権大会に向かいました。初の日本代表、そして日本キャプテンを務めました。50m、100m、200mバタフライと男女混合メドレーリレーに出場しました。環境に圧倒され、前半の日程のレースはうまくコンディションを整えられず、苦しいレースをしてしまいました。同じ日本代表のメンバーがメダルを取り、自分もなんとか結果につなげたいと強く思うようになりました。最終日に、200mバタフライで前半から積極的に攻め、持ち味の後半の追い上げがうまくいきました。その結果、大きく自己ベストを更新し、金メダルを取ることができました。キャプテンとしても何とか結果を示すことができ、本当にうれしかったです。

多くの方のサポートがあったからこそ、大会で結果を残すことができました。本当に感謝しています。来年はオリンピックの年です。さらに上を目指して、努力していきたいです。

【大会結果】

インターハイ	100mバタフライ 53秒46 1位	第5回世界ジュニア選手権水泳競技大会	100mバタフライ 54秒32 12位
	200mバタフライ 1分57秒44 2位		200mバタフライ 1分56秒80 優勝 金メダル
			男女混合メドレーリレー 4位



インターハイ出場

女子陸上競技部 3年 西村 早織 工業化学科

私はケガや貧血が続いていた2年生の夏、練習を継続したい、筋力をつけたいという思いで競歩に挑戦することにしました。

最初は先輩の真似をして必死について歩いていました。初めての大会では足が浮いてしまったり、膝が曲がってしまったりとファールをとられ失格になってしまい悔しい思いをしましたが、この時、競歩の難しさと奥深さに気づき、頑張りようと思いました。その後の練習で色々工夫していきコツコツと努力した結果、近畿大会では優勝することが出来、全国大会へ出場することが出来ました。全国大会では良い緊張感の中、自分の力を出し切ることが出来、2位という結果を残すことが出来ました。

陸上を始めて3年目。次は走りでも上を狙っていきますので応援よろしくお願いします。

【大会結果】

第55回東幡高等学校陸上競技対校選手権大会	女子5000m競歩 決勝 2位 24分57秒60 (NGR)	第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選	女子5000m競歩 決勝 1位 23分42秒90
第68回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会	女子5000m競歩 決勝 2位 24分45秒15	第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	女子5000m競歩 決勝 2位 23分24秒02



茶道部

現在11名（3年2名、2年2名、1年7名）の部員が在籍し、学期中は週1回講師の笹倉先生のご指導のもとお稽古に励んでいます。茶道の所作や礼法を学ぶ中で、季節のお道具やお茶花・お茶菓子をを通してふだん意識せずに過ごしがちな日本独特の季節感も身につけていける実感があります。

1学期末の6月28日には、西脇市・西脇市教育委員会の後援により西脇高校の茶道部の皆さんと合同で、第6回目になる“高校生によるチャリティ茶会”を西脇コミュニティセンターで開催することができました。前回までは東日本大地震・津波遺児支援のため、あしなが育英会に収益を託していました。今春のネパール大地震の報道に触れ「東日本大地震では日本が各国から助けもらった。今度は自分たちが役立ちたい。」という気持ちから、会場での募金と合わせて在日ネパール大使館を通じて現地に届けていただきました。私たちが日頃学んでいる茶道で、少しでも被災地の方々のお役に立てることが出来ればという思いに、たくさんの方にご協力いただき本当にありがとうございます。



3年生 お点前（立礼）、半東



1年生 お運び



2年生 水屋（お点出し）



夏休み中には、浴衣の着付けを教えていただいたり、お茶菓子を手作りして味わったりという学期中にはなかなかできない活動も体験しました。

普段の活動の成果をお見せできるのは、“高校生によるチャリティ茶会”と秋の“工業祭”でのお茶席です。少ない機会を十分に生かせるよう明るく楽しくしっかりお稽古に取り組んでいきますので、先輩の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



夏休み 浴衣の着付け講習後

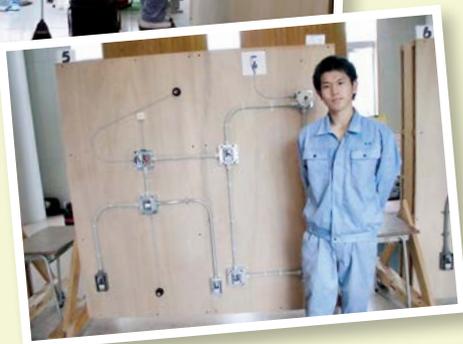
ものづくりコンテスト(競技大会)への取り組み

電気科 山村 明生

高校生ものづくりコンテスト全国大会が2001年から8部門で、若年者ものづくり競技大会全国大会が2005年から14職種で実施されています。それに合わせて、兵庫県の工業高校でも、各種ものづくり競技大会兵庫県大会（予選）が行われるようになりました。

電気科では指導目標である「各種コンクールに出場させ、知識・技術の向上を図る」を実現するため、高校生ものづくりコンテストや若年者ものづくり競技大会に出場してきました。本校では、電気工事部門からのチャレンジが始り、当初は県大会直前の放課後のわずかな時間を使って、本番へ向けて練習をしてきましたが、明らかな練習不足のため、結果どころか試合中に課題が出来上がらず、未完成で採点対象外になることが多く、結果を出すところまでは至らなかった。また、教員も手探り状態で十分な指導もできない現状だった。しかし、5年前に藤岡喜文先生（OB）が篠山産業高校から転勤してこられて課題研究や放課後の活用をされながら、指導をするようになってからは未完成がなくなったところか、平成24年には若年者ものづくり競技大会において兵庫県大会で第2位、近畿大会でも第2位と結果を出せるようになった。同年の高校生ものづくりコンテスト

では第6位と結果が出せるようになった。また、平成23年より金澤恵司先生（現小野工高）が電子回路組立部門の指導を始められ、平成24年には兵庫県大会で第3位、平成27年度には第6位に入賞した。兵庫県はものづくりのレベルが非常に高く、駅伝ではないが「兵庫を制する者が…」全国大会で優勝をはじめとして、上位入賞が続いている。近年は他校の生徒の技術も上がっており、指導する側の指導力も上げていく必要を痛感している。せっかく長時間練習して出場するならば全国大会での上位入賞目指して「ものづくりの西脇工業高校」の一翼を電気科が担えるように生徒・教員が切磋琢磨しながら日々努力をしていきたい。



学科紹介 総合技術科 定員40名

総合技術科は、平成10年4月に設置され本年度で18年目を迎えました。平成27年3月現在、卒業生は男子505名、女子74名の計579名になります。

総合技術科では、情報技術を中心に、ものづくりに必要な機械・電気・環境などの工業の基礎的な内容を学習し、2年生より情報機械、自動制御、環境情報の3つのコースに分かれて、それぞれの専門知識をより深く学びます。また、選択教科を多く取り入れ、多様な進路に対応できるようにしています。

学習する科目とコース内容について

(普通科目)

国語総合、国語表現、現代文A、現代社会、世界史A、日本史A/地理A、数学I・II、数学A/数学III、物理基礎、科学と人間生活、体育、保健、音楽I、コミュニケーション英語I・II、家庭基礎

(専門・選択科目)

工業技術基礎、実習、課題研究、電気基礎、製図、機械設計、機械工作、コンピューターシステム技術、情報技術基礎、電子機械/環境工学、機械設計/電子技術/プログラミング技術、ソフトウェア技術/数学B、製図/数学III、国語表現/政治経済/数学活用/生物基礎/物理/体育/音楽II/コミュニケーション英語II/家庭基礎/工業管理技術/簿記

情報機械コース

ネットワーク技術とコンピュータを使ったものづくりをテーマとして、総合的な機械技術者の育成を目指しています。コース座学で電子機械、機械設計を学び、実技でCADによる製図、三次元CAD、CAD/CAMによる加工を学びます。

実習、課題研究ではスターリングエンジン、相撲ロボット、自走式ロボット等の製作に取り組んでいます。



課題研究 (相撲ロボット)



CAD/CAM実習

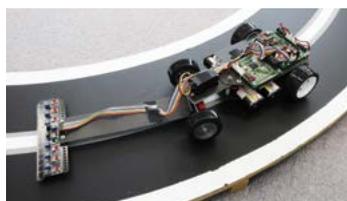
自動制御コース

自動化、省力化の基本的な自動制御技術、デジタル回路技術を中心に学び、実践的な電気・電子技術者の育成を目指しています。

コースの座学では電子機械、電子技術を学び、課題研究では、自動走行ロボット、二足歩行ロボット、マイコンカーや各種ロボットを製作しています。また、シーケンサによる機械制御マイコンによる制御や電気工事士試験にも取り組んでいます。



メカトロ実習



課題研究 (マイコンカー)

環境情報コース

環境にやさしいものづくりを目標に、新しいエネルギーの燃料電池や太陽エネルギーなどの自然エネルギーの研究、水質や大気など分析など自然環境を調査し、コンピュータによる処理方法や考察力の向上を図ります。また、校外での実習も取り入れています。コース座学で環境工学やプログラミング技術を学びます。課題研究ではレゴロボット、ソーラーラジコンを製作しています。総合的かつ多角的な感覚のある、技術者の育成を目指しています。



河川調査



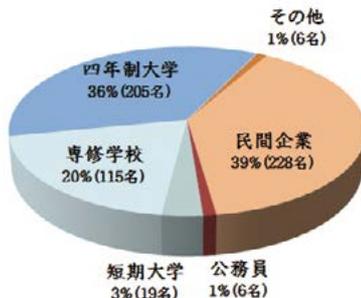
課題研究 (ソーラーラジコンカー)

進路について

就職、進学に安定した実績があります。就職先は、地元企業を中心に阪神間の企業、公務員です。

進学先は、四年制大学が最も多く、残りは医療系、建築、整備士など国家資格を取得できる専門学校への進学です。

総合技術科進路状況(H12～H26年度)



資格について

ITパスポート、電気工事士、危険物取扱者、ビジネス文章実務検定、情報処理検定など、卒業までに一人当たり6個以上の資格・検定を取得しています。

総合技術科は、就職・進学に対応できる学科です。普通教科で一般教養、専門教科でものづくりの総合力を養い、資格・検定の取得やクラブ活動等に努力し、進路実現を目指します。

(詳細は、本校のWebページの学科紹介・総合技術科を参照してください。)

平成26年度 部活動戦績

体育部

男子バレーボール部	〈平成26年度東播高等学校バレーボール春季優勝大会〉 1部 3位 西脇工業高等学校 〈東播高等学校バレーボール選手権大会〉 優秀選手賞 松原優介 〈平成26年度東播総合体育大会〉 1部 第3位 西脇工業高等学校 〈平成26年度新人大会東播予選〉 男子の部 第3位
卓球部	〈平成26年度東播高等学校春季卓球大会〉 男子学校対抗 準優勝 西脇工業高校 男子ダブルス 第3位 絹川太郎 村井康太 組 〈平成26年度東播高等学校秋季卓球大会〉 男子学校対抗 準優勝 西脇工業高校 男子ダブルス 準優勝 村井康太・前田悠介 組
サッカー部	〈第61回西脇市民体育大会〉 総合優勝
男子ソフトテニス部	〈第64回北播地区高等学校春季ソフトテニス大会〉 男子の部 優勝 飛田・岸本 組 男子の部 準優勝 福田・武内 組
女子ソフトテニス部	〈北播高等学校春季ソフトテニス大会〉 女子個人の部 準優勝 尾上 愛、前田祐菜 〈北播女子親善ソフトテニス大会〉 団体の部 優勝 〈春季東播ソフトテニス大会〉 女子団体の部 第4位 大元彩加 尾上 愛、前田祐菜 〈東播地区高等学校秋季新人ソフトテニス大会〉 団体戦 第4位
空手部	〈平成26年度東播高等学校春季空手道大会〉 男子団体形 第3位 西脇工業高等学校 勝岡 望・井上幸喜・田中貴晴 〈関西空手道連合第40回演武大会〉 高校 組手の部 準優勝 高岸政樹 高校 組手の部 第3位 村井恵哉 一般・高校生形の部 優勝 石井理久 一般・高校生形の部 第3位 村井恵哉 〈平成26年度秋期空手道大会〉 男子団体組手 第3位 前田・篠原・柳川・石井・高岸・松井 男子団体形 第3位 篠原・柳川・石井
柔道部	〈東播高等学校春季柔道大会〉 男子個人100kg級 第2位 藤井一帆 〈第42回東播磨健民柔道大会〉 一般男子段外の部 第3位 戸田光哉 松原栄佑 一般男子初段の部 第3位 藤井一帆 〈東播高等学校秋季柔道大会〉 男子個人100kg級 第2位 藤井一帆 〈第37回北播柔道大会〉 個人戦 高校一般男子の部 第3位 稲次樹
水泳部	〈13回東播地区高等学校招待水泳競技大会〉 男子団体400メートルフリーリレー 第5位 足立悠真 梶村尚 高見昇汰 八十原洋 男子100メートル自由形 第6位 梶村 尚 〈第67回兵庫県高等学校選手権水泳競技大会〉 男子100m 第1位 梶村 尚 男子200m 第1位 梶村 尚 〈第57回兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳競技大会〉 1年男子100mバタフライ 第1位 梶村 尚 〈第5回東播高等学校秋季水泳競技大会〉 男子 200mメドレー 第6位 八十原 足立 藤本 宮崎 男子 50m自由形 第4位 八十原洋 男子 100m自由形 第4位 八十原洋 男子 100m個人メドレー 第3位 八十原洋 男子 50m平泳ぎ 第6位 足立悠真 男子 100m平泳ぎ 第5位 足立悠真 男子 200m自由形 第3位 足立悠真 男子 400m個人メドレー 第5位 藤本星也
陸上競技部	〈第61回兵庫リレーカーニバル〉 女子高校3000m 第1位 南美沙希 第2位 山川小春 〈第66回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会〉 男子800m 第3位 西村陽貴 男子1500m 第6位 西村陽貴 第5位 猪尾賢基 男子5000m 第3位 猪尾賢基 第6位 藤田兼至 女子400m 第5位 高橋ひな 女子1500m 第3位 山川小春 女子3000m 第4位 南美沙希 第6位 山川小春

陸上競技部

女子5000mW	第2位 呼子奈央
〈第2回ユースオリンピック競技大会アジア地区予選会〉	
女子800m	第1位 高橋ひな
〈秩父宮賜杯第67回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会〉	
男子800m	第2位 西村陽貴
男子1500m	第2位 西村陽貴
〈第82回兵庫県陸上競技選手権大会〉	
男子10000m	第2位 藤田兼至
第3位 苗村隆広	
男子少年B3000m	第1位 加藤 淳
第2位 上村亮太	
女子800m	第1位 高橋ひな
女子1500m	第3位 南美沙希
女子5000m	第2位 村上智美
女子5000mW	第1位 呼子奈央
〈第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会〉	
男子800m	第2位 西村陽貴
女子800m	第1位 高橋ひな
〈第66回兵庫県高等学校コース陸上競技対校選手権大会〉	
1年男子総合	第3位
2年男子総合	第3位
2年女子総合	優勝
1年男子800m	第1位 西園颯斗
1年男子1500m	第1位 加藤 淳
1年男子5000m	第3位 加藤 淳
1年男子3000mSC	第2位 境 勇樹
2年男子800m	第1位 西村陽貴
2年男子1500m	第1位 西村陽貴
2年男子5000m	第3位 赤澤健太
2年男子3000mSC	第2位 安田一平
1年女子1500m	第3位 南美沙希
1年女子3000m	第1位 南美沙希
2年女子1500m	第2位 山川小春
2年女子3000m	第1位 山川小春
第3位 村上智美	
2年女子5000mW	第3位 西村早織
〈第82回近畿陸上競技選手権大会〉	
男子10000m	第1位 苗村隆広
女子5000m	第1位 山川小春
第3位 山下真生	
女子5000mW	第2位 呼子奈央
〈第47回近畿高等学校コース陸上競技対校選手権大会〉	
1年男子総合	第3位
1年男子800m	第1位 西園颯斗
1年男子1500m	第1位 西園颯斗
第2位 加藤 淳	
1年男子5000m	第1位 加藤 淳
1年男子3000mSC	第3位 境 勇樹
2年男子800m	第1位 西村陽貴
2年男子1500m	第1位 西村陽貴
2年男子3000mSC	第2位 安田一平
1年女子800m	第1位 高橋ひな
1年女子1500m	第3位 南美沙希
1年女子3000m	第2位 南美沙希
〈第69回国民体育大会〉	
少年男子B 3000m	第3位 加藤 淳
少年女子共通 800m	第7位 高橋ひな
〈第34回日本海駅伝競走大会〉	
高校総合第3位	村上・池田・西村・加藤・上村・安田・加藤
〈第69回兵庫県高等学校駅伝競走大会〉	
総合第1位	加藤・赤澤・苗村・西村・上村・安田・藤田
〈第31回兵庫県高等学校駅伝競走大会〉	
総合第1位	南・高橋・坂本・大西・村上
〈第65回近畿高等学校駅伝競走大会〉	
総合第2位	藤田・池田・苗村・加藤・西村・加藤・猪尾
〈第30回近畿高等学校駅伝競走大会〉	
総合第4位	村上・南・大西・工藤・山川
〈男子第38回春の高校伊那駅伝大会〉	
高校男子の部	第6位 猪尾・加藤・上村・藤田・池田・安田
〈第7回西脇多可新人駅伝大会〉	
男子総合の部	第4位
女子総合の部	第4位

文化部

囲碁将棋部

〈全国高校囲碁選手権大会〉	
女子団体戦	第3位 片岡桃子 玉田咲良 南文乃
〈兵庫県総合文化祭囲碁市内大会〉	
	第3位 渡辺泰規

進路指導部

今年は、就職希望者141名(61%)、進学希望者91名(39%)です。企業からの求人は8月末段階で、計321社・430人と、昨年より約30社増加しました。2年連続の求人増です。

本校に求人する理由をお聞きすると、「専門知識を持っており、即戦力になる。」という理由です。またそれ以外に、「世代交代への備え」と答える採用担当者の方が少なからずおられます。1990年代中ごろより企業は、新規採用を抑制し続けました。人件費の削減です。そのため、30代後半～40代の働き盛りの世代が不足し、年齢構成がいびつになっています。さらに50～60代の人たちも、その多くが今後10年前後で職場から去っていきます。いま、生産年齢人口の急速な減少が始まっています。

【主な就職先】

〈管内〉I.S.T.加美、アイカハリマ工業、IDEC滝野事業所、アクシスマテリア、アスカカンパニー、アマダ、アライドマテリアル播磨製作所、いげうち西脇工場、一方社油脂工業、稲坂歯車製作所、稲坂油圧機器、ウインブルヤマグチ、エースコック関西滝野工場、エスケー化研兵庫工場、エス・ジー・シー、王子コンテナ兵庫工場、オーナーぱり、大西コルク工業所、オザワ繊維ドコモショップ西脇店、小野ダスキン、加美電機、関西エナジス、神菱、協同工芸社、神戸合成、公友不動産、光洋機械産業、コタニ、サステック関西工場、サンウエーブ工業社工場、JCLバイオアッセイ、溢谷工業、新明和工業流体事業部、菅野包装資材、積水成型工業兵庫滝野工場屋電機、千住金属工業関西事業所、ダイケン兵庫工場、大真空西脇工場、築野食品工業、凸版情報加工、トッパンパッケージプロダクツ、西脇多可自動車整備協業組合、日本電線工業兵庫工場、服部テキスタイル、パンチ工業兵庫工場、日立マクセル、福山通運、藤井電工、富士通周辺機、フジパングループ本社、プレミアムキッチン、明々工業、ユタックス、吉電、リコー池田事業所
〈県内〉アイカ工業、大地農園、大塚病院、川崎重工業、川崎重工業明石工場、川重明石エンジニアリング、関西電気保安協会、関西熱化学古川工場、キャタ

【主な進学先】

〈大学〉大阪経済大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪商業大学、大阪体育大学、大阪電気通信大学、岡山理科大学、金沢工業大学、関西看護医療大学、関西学院大学、京都外国語大学、京都産業大学、近大姫路大学、高知工科大学、神戸学院大学、摂南大学、園田学園女子大学、中央大学、中央学院大学、帝塚山大学、東海大学、姫路獨協大学、兵庫大学、びわこ成蹊スポーツ大学、佛教大学、龍谷大学
〈短期大学〉神戸常盤大学短期大学部、産業技術短期大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学短期大学部、湊川短期大学
〈専門学校〉大阪航空専門学校、大阪総合デザイン専門学校、大阪デザイナー専門学校、大阪バイオメディカル専門学校、大阪美容専門学校、大原医療福祉&ス

そのため、将来の日本経済を支える若い人材への投資が企業の大きな課題になっています。急務ともいえます。採用人数の増は、今後数年間、続く予想できます。

本校の求人が多い、もう一つの理由は「伝統の力」です。企業訪問で「私も西脇工業〇〇科の卒業生です。」と言ってくれる採用担当者や「校舎や風景、昔と変わっていませんね。懐かしいです。」と言いながら本校に求人票を持参してくれる卒業生の方も多くいらっしゃいます。お話ししていると、1万2千人を超える卒業生の各分野でのご活躍が、求人票という形で、在校生を支えていただいていることを実感します。

在校生の努力はもちろんです。今後とも卒業生皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に平成26年度3月の卒業生(52回生)の主な就職先、進学先を掲載しておきますのでご覧ください。

ピラージャパン明石事業所、共立合金製作所、極東開発工業三木工場、近畿工業、クボタ、KCM、神戸製鋼所 加古川製鉄所、神戸製鋼所高砂製作所、神戸電鉄、コベルコ科研、JFEスチール東日本製鉄所西宮工場、シスメックス、神鋼エンジニアリング&メンテナンス、神鋼物流加古川事業所、新日鐵住金 鋼管事業部尼崎製造所、住友精密工業、住友電気工業伊丹製作所、ダイワ製薬兵庫工場、但馬銀行、東芝三菱電機産業システム、東洋製鉄、東洋電機、西日本旅客鉄道、ニッケ機械製作所、日鉄住金テックスエンジニアリング支店、日本ジャバラ工業、ハイレックスコーポレーション柏原工場、パナソニックアプライアンス社、パナソニックポリテクノロジ、ハリマ化成、播州調味料、日立オートモティブシステムズ阪神、兵庫バルブ工業、富士電機神戸工場、古野電気三木工場、三菱重工工業、三菱電機神戸製作所、三菱電機コミュニケーション・ネットワーク製作所、三菱電機三田製作所、三菱電機通信機製作所、三菱電機姫路製作所、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル三田工場、メルコパワーデバイス、モリタ、柳瀬、大和製衛〈県外〉川島織物セルコン、きんでん、JRCマリンフォネット、東京電力、阪急電鉄、阪神電気鉄道、日立製作所水戸事業所、JTAサザンスカイサービス(株)〈公務員〉兵庫県警、北はりま消防組合、多可町役場(一般行政職)、自衛隊

ポーツ保育専門学校、大原簿記専門学校、大原簿記情報法律専門学校、岡山・建部医療福祉専門学校、関西看護専門学校、関西総合リハビリテーション専門学校、神戸医療福祉専門学校、神戸国際調理製菓専門学校、神戸製菓専門学校、神戸総合医療専門学校、神戸電子専門学校、修成建設専門学校、駿台観光&外語ビジネス専門学校、西神看護専門学校、専門学校HAL大阪、トヨタ神戸自動車大学校、日本栄養専門学校、日本歯科学院専門学校、日本調理製菓専門学校、日本分析化学専門学校、ハーベスト医療福祉専門学校、播磨看護専門学校、姫路情報システム専門学校、ホスピタリティツーリズム専門学校大阪、ホンダテクニカルカレッジ関西、ミス・パリエステティック専門学校、履正社医療スポーツ専門学校

掲示板

NISHIWAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL NEWS

平成26年度 緑総会 会計報告書

収入の部 H26.4.1～H27.3.31

項目	決算額	摘要
前年度よりの繰越金	2,721,107	
入会金	720,000	平成26年度入学生より徴収(3000円×240人)
	72,000	新入生初会費(300円×240人)
会費	2,348,950	在校生(準会員)より徴収
預金利息	262	
合計	5,862,319	

支出の部

項目	決算額	摘要
慶弔費	86,000	転退職職員饗別
事業費	2,552,108	
	5,110	総会費
	1,520	ゴルフコンペ不足分
	2,123,172	小野高速印刷
	194,340	卒業生印鑑
	70,000	同窓会開催祝い金
	100,000	陸上部全国お祝い
	30,000	クラブ後援会へ
	19,440	全国大会出場記念品
	5,760	議事録郵便代
	2,658	臨時役員会お茶代
	108	雑費
合計	2,638,108	

差し引き残額 5,862,319 - 2,638,108 = 3,224,211円を繰り越します。以上の通り報告いたします。

平成27年4月6日 緑総会会計係 井本 真弓
監査の結果、通帳及び領収書・関係書類が適正に処理されていることを認めます。

平成27年4月6日 監査 竹中 修
萩原 得男

同窓会開催をサポートします！

対象者 西脇工業高等学校卒業生

条件 ①同窓会の開催(クラス単位・学年単位クラブOB会もOK！)

②開催後、会報に掲載しますので原稿(約400字)、写真をご提出下さい。

お申し込み・お問い合わせは、メールまたは西脇工業高校内同窓会事務局までお願いいたします。

原稿募集

会員の皆様から様々な原稿を募集いたします。

- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、修学旅行、入学式、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々、お店の紹介
- ・同期会等の開催告知 etc...

方法は、緑窓会事務局まで、郵送又はメールでお寄せ下さい。その際には、卒業年次(回)、クラス、住所、氏名(回生)、TELをお忘れないうようお願いいたします。また、写真等もお送りいただけますと幸いです。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承下さい。【掲載申込 7月末まで】

各種同窓会開催を応援します！

次回の緑窓会会報は、平成28年11月に会報の発刊を予定しております。開催時期により対象回生・クラスだけに返信ハガキ等も封入することも可能ですので緑窓会事務局までご相談ください。また、開催補助金も行っております。補助内容につきましては、事務局までご連絡下さい。同窓会の開催後は、開催模様の文章(400～600字程度)と写真とともに同窓会事務局へご報告下さい。次号緑窓会報へ掲載させていただきます。

申請内容: どのような同窓会か。(学年会、クラス会、部活動OB会etc...) 開催日時、開催対象人数(事務局で確認することも可能です)、開催場所。

編集後記

緑窓会会報も、今年で9回目の発刊となります。創立53年目をこの秋に向え、数多くの卒業生の方々が社会人として活躍されていると思います。今後もこの会報を通じて、皆様の近況、ご活躍を紹

介し、充実した会報にしたいと思います。また、10回目、20回目の発刊を目指して頑張っていきたいと思います。会員のみな様の、さまざまな話題や情報を学校宛に、電話、FAX、メール等でお寄せ下さい。お待ちしております。